

科目名	ファッションビジネス理論と演習 I	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	ファッションビジネスコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	180	作成者	松下絢子

【科目の到達目標】

ファッションビジネスの基礎知識、マーケティングの基礎知識、ファッション商品知識を講義と演習により修得する。
 ファッション業界に必要なファッション用語や市場情報の収集・分析方法を修得し、基礎的なファッションビジネススキルを培う。
 「ファッションビジネス能力検定3級」合格を目指す。

【科目の概要】

ファッションビジネスの基礎知識を中心に、ファッション商品が出来上がるまでの流れと、それに関する企業の組織と機能を講義やグループワークにより学ぶ。
 ファッション商品知識とファッション感性を視覚的に学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1～11	ファッションビジネスの概要		61～63 ショップ運営計画
12～14	自己マップ・自己分析		64～66 計数管理
15～18	オケーション知識		67～69 ファッションマーチャンダイジング
19～20	ファッション消費と消費者行動		70～72 ファッション流通
20～30	アイテム知識		73～74 アパレル業界キャリアプラン
30～40	アパレル産業と小売り産業		75～80 ビジネス基礎知識
41～43	ショップ企画		81～86 トレンド感性マップ
44～50	バイイング企画		87～89 最近のファッションビジネス業界の傾向
51～52	トレンド分析		90 テスト
53～59	ファッションマーケティング		
60	テスト		

【成績評価方法】

課題評価 60% 試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

教①: (財)日本ファッション教育振興会・編『ファッションビジネス3級新版 ファッションビジネス能力検定3級公式テキスト』
 教②: 菅原正博・山本光子『ファッション・マーケティング』ファッション教育社

【教材・教具】

問: (財)日本ファッション教育振興会・編『ファッション販売能力検定試験3級項目別試験問題・解答集』
 辞典: ファッションビジネス学会・監督『ファッションビジネス用語辞典訂正版』文化出版局

科目名	ファッションマーケティング&プランニングⅠ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	ファッションビジネスコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 40 % 実習 60 %
時間数	120	作成者	塩田千織

【科目の到達目標】

マーケティングの基礎知識を講義と演習により習得し、市場の求めるファッション商品のプランニングができるようになる。商品企画書を作る為に必要なファッション用語や、市場情報の収集・分析方法を学び、商品企画のプレゼンテーションができることを目標にする。

【科目の概要】

ファッションマーケティング&プランニングの基礎分野である。本科目は、ファッション消費者行動とファッション生活をベースにしたマーケティング理論を解説する。

具体的には、既存のアパレルブランドを想定した新商品企画を行い、市場情報の収集、ファッショントレンドの分析方法を講義と演習により習得し、消費者ニーズとファッション生活に対する理解を深める。また、商品企画書を用いて説得力のあるプレゼンテーションを作成する。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1・2	イントロダクション	31・32 ブランド企画 ブランドデータ分析
3・4	ファッション市場を知る	33・34 ブランド企画 ターゲットデータ分析
5・6	品揃え計画 市場調査	35・36 ブランド企画 中間プレゼンテーション
7・8	品揃え計画 セレクトショップデータ	37・38 ブランド企画 コレクション分析
9・10	品揃え計画 ターゲットデータ	39・40 ブランド企画 シーズンコンセプト企画Ⅰ
11・12	品揃え計画 シーズンコンセプトデータⅠ	41・42 ブランド企画 シーズンコンセプト企画Ⅱ
13・14	品揃え計画 シーズンコンセプトデータⅡ	43・44 ブランド企画 シーズンコンセプト企画Ⅲ
15・16	品揃え計画 コーディネート計画	45・46 ブランド企画 コーディネート企画Ⅰ
17・18	品揃え計画 アイテム計画Ⅰ	47・48 ブランド企画 コーディネート企画Ⅱ
19・20	品揃え計画 アイテム計画Ⅱ	49・50 ブランド企画 アイテム企画Ⅰ
21・22	品揃え計画 プロモーション計画	51・52 ブランド企画 アイテム企画Ⅱ
23・24	品揃え計画 プレゼンテーションⅠ	53・54 ブランド企画 アイテム企画Ⅲ
25・26	品揃え計画 プレゼンテーションⅡ	55・56 ブランド企画 プロモーション企画
27・28	ブランド企画 市場調査	57・58 ブランド企画 プレゼンテーションⅠ
29・30	ブランド企画 データ分析	59・60 ブランド企画 プレゼンテーションⅡ

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度(積極性)10%

【教科書・参考書】

菅原正博・山本光子『ファッション・マーケティング』ファッション教育社

【教材・教具】

科目名	販売技術 I	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	ファッションビジネスコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	60	作成者	塚井良太

【科目の到達目標】

ファッションアドバイザーに必要な基本的な知識と技術を修得し、印象の良い所作を身につける。顧客のニーズを引き出し、ファッションアドバイザーとしてパーソナルな対応の体現ができる。

【科目の概要】

ファッションアドバイザーに必要な基礎知識を講義により修得し、お客様対応の技術をロールプレイングにて学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1・2	コミュニケーションスキル I プロのFA像 I ディスカッション		31・32 カウンセリングスキル I アサーション
3・4	プロのFA像 II プレゼンテーション		33・34 カウンセリングスキル II 色を与える心理効果・パーソナルカラー
5・6	印象アップ I FAの基本、第一印象の重要性		35・36 カウンセリングスキル III 骨格診断
7・8	購買心理8段階 FA所作 I 入店率・滞留時間アップ		37・38 カウンセリングスキル IV 鏡前対応・クロージング
9・10	アプローチ I パーソナルスペースと距離感		39・40 レジ対応とお見送り 金銭授受・お見送り所作
11・12	印象アップ II 応対リサーチ・与える印象の違い		41・42 接客ロールプレイング I 弱点強化・強みを伸ばす対応
13・14	アプローチ II アプローチバリエーション		43・44 接客ロールプレイング II 接客ロールプレイングコンテスト対策 I
15・16	セールストークテクニク I 商品知識向上		45・46 接客ロールプレイング III 接客ロールプレイングコンテスト一次審査
17・18	セールストークテクニク II 商品説明からセールストークへ		47・48 接客ロールプレイング IV 接客ロールプレイングコンテスト対策 II
19・20	コミュニケーションスキル II 会話力向上		49・50 接客ロールプレイング V 接客ロールプレイングコンテスト二次審査
21・22	実技テスト 接客ロールプレイング		51・52 実技テスト 接客ロールプレイング
23・24	ニーズの引き出しと把握 I お聞きだしと受け止め		53・54 お直し対応 パンツ・スカート
25・26	ニーズの引き出しと把握 II 質問力向上		55・56 販売戦略と接客対応 I ディスカッション
27・28	セールストークテクニク III TPO知識向上		57・58 販売戦略と接客対応 II ディスカッション
29・30	筆記テスト 前期接客ロールプレイングまとめ		59・60 筆記テスト 販売戦略と接客対応 III プレゼンテーション

【成績評価方法】

課題評価 60% 修業試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

教①:『ファッション販売3 ファッション販売能力検定試験3級公式テキスト』(財)日本ファッション教育振興会
教②:高村是州『スタイリングブック』グラフィック社

【教材・教具】

『ファッション販売3 ファッション販売能力検定試験3級公式テキスト』(財)日本ファッション教育振興会
上條美由紀『ビジュアル版 プロの接客術』織研新聞社

科目名	コンピューター演習	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	ファッションビジネスコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	90	作成者	松下絢子 / 樂愛実

【科目の到達目標】

パソコンやネットワークを安全に、効果的に活用できる基礎的知識を身につけるとともに、Microsoft Word Microsoft Excel Microsoft Power Pointの基本操作を理解し、Adobe Illustrator、Adobe Photoshopでの画像、イラスト作成できる。また、店頭やビジネスの世界でPCを使える人材を育成する。

【科目の概要】

ファッションビジネスに必要と思われる、ネットを使ったリサーチ手法から企画書作成までのコンピュータの基礎技術を習得する。講義を行い教員と同時進行でコンピューターを使用し、それぞれの課題を取り組み、目的に合わせてソフトウェア選択し、使用する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	基本操作・メール		16・17 基本操作
2	基本操作		18・19 ハンガーイラスト
3	トレンドマップ		20・21 ハンガーイラスト
4	トレンドマップ		22・23 基本操作
5	トレンドマップ		24・25 基本操作
6	基本操作		26・27 商品企画
7	基本操作		28・29 商品企画
8	基本操作		30・31 商品企画
9	基本操作		32・33 商品企画
10	基本操作		34・35 商品企画
11	基本操作		36・37 商品企画
12	テスト		38・39 商品企画
13	基本操作		40・41 商品企画
14	基本操作		42・43 商品企画
15	基本操作		44・45 商品企画/テスト

【成績評価方法】

課題評価 60% 試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

- ①井上香緒里 & できるシリーズ編集部『できるWord&Excel&Power Point2013』株式会社インプレスジャパン出版
- ②片岡巖『世界一わかりやすいPhotoshop操作とデザインの教科書』株式会社技術評論社
- ③片岡巖『世界一わかりやすいIllustrator操作とデザインの教科書』株式会社技術評論社
- ④菅原正博 本山光子『ファッション・マーケティング』株式会社ファッション教育社 1999年4月5日発行

【教材・教具】

パソコン、USBメモリー、ファッション雑誌、A4ファイル

科目名	ビジネスマナー I	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	ファッションビジネスコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 60 % 実習 40 %
時間数	60	作成者	津森祐子

【科目の到達目標】

就職活動時の企業訪問や面接試験に必要な社会人としての基本的なマナーを身につけます。
卒業後の企業人として必要なコミュニケーション能力やマナーの応用力を養っていきます。美しい立ち居振る舞いを習得しワンランク上の人材を目指します。
また、サービス接客検定2級・準1級の取得も目指し、達成感や自身につなげます。

【科目の概要】

この科目では人と人とのつながりの基本のコミュニケーション力を育成します。マナーの基本でもある身体言語（表情・態度・身だしなみ・挨拶）と言葉づかいを実践的に学習します。立ち姿から、笑顔の作り方、メリハリのある話し方を、楽しく覚えて頂きます。コミュニケーション能力を養って、魅力ある社会人を目指しましょう。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	ビジネスマナーの必要性 (マナーチェックシート)		16 サービス接客検定 筆記対策 (資質・専門知識・一般知識)
2	インターネットのモラル (SNS拡散の影響 著作権侵害など)		17 サービス接客検定 筆記対策 (対人技能)
3	挨拶の重要性と心のこもったおじぎ (綺麗な姿勢から歩き方のレッスン)		18 サービス接客検定 筆記対策 (実務技能)
4	基本の自己紹介・面接対策授業 (第一印象にかかわる基本)		19 サービス接客検定 筆記対策 (過去問題練習)
5	言葉以外のコミュニケーションの手法 (アイコンタクト・表情・発声・発音)		20 サービス接客検定 筆記対策 (準1級面接対策)
6	基本の姿勢 身ごなし ビデオチェック (1～5確認テスト)		21 就職活動で必須 自己分析の重要性 (性格・ライフプランニングシート作成)
7	現時点での敬語チェック (第一印象にかかわる基本の総復習)		22 就職面接のための準備 ① (自己振り返りシート作成)
8	敬語の種類と使い方・案内のマナー (立場に応じた言葉づかい)		23 就職面接のための準備 ② (自己紹介シートの作成)
9	接客用語の基本・ドアの扱い方のマナー (クッション言葉・婉曲表現・面接対策)		24 就職面接のための準備 ③ (質疑応答の実践)サービス検準1対策
10	接客用語の応用・電話対応練習 (言葉遣い実践)※8～10確認テスト		25 就職面接のための実践練習※実技試験 (入室～退室まで 1分間自己PR)
11	名刺の扱い方・サービス2級検定対策 (名刺交換の実践練習)		26 電話対応のマナー・メールのマナー (就職活動での電話・メールのマナー)
12	敬語の総復習・期末試験対策授業 (サービス接客検定記述問題 対応)		27 電話対応の実践 (てるコーチを使って実践)
13	前期期末試験		28 履歴書の書き方・封筒の書き方
14	サービス接客検定対策(1) (資質・専門知識)		29 後期期末試験
15	サービス接客検定対策(2) (一般知識)		30 グループディスカッションのマナー (グループ面接のマナー)

【成績評価方法】

提出課題の評価 60%、 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

田野直美 著 『ビジネスでの常識集』 トータルマナー株式会社 最新版
元吉昭一 著 『サービス接客検定 実問題集 1-2級』 財団法人実務技能検定協会 早稲田教育出版 最新版

【教材・教具】

ビデオカメラ・モニター、てるコーチ、ボイスレコーダー
サービス接客検定 準1級 ロールプレイング DVD、その他 随時 練習プリント

科目名	商品製作 I	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	ファッションビジネスコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	120	作成者	ホウーシャ瑠伊

【科目の到達目標】

洋服の構造を理解し、ファッションビジネスにおける洋服の製作工程を把握する。

【科目の概要】

アパレルの商品における企画⇒生産⇒販売の流れでは、将来的に企画・販売職に就く為に洋服の扱い方や「お直し」に必要な知識を身につける。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1・2	ミシン講習会		31・32 ブラウス製作Ⅴ - 襟付け
3・4	購入 洋裁道具の説明 使用準備		33・34 ブラウス製作Ⅵ - 袖付け
5・6	ミシン練習 - 雑巾		35・36 ブラウス製作Ⅶ - 仕上げ
7・8	手縫いの基礎Ⅰ		37・38 ブラウス発表準備 - 撮影
9・10	手縫いの基礎Ⅱ		39・40 ブラウス発表
11・12	生地屋リサーチ		41・42 スカート製作Ⅰ - パターントレース
13・14	トートバック製作 裁断 ミシン・ロックミシン		43・44 スカート製作Ⅱ - 生地裁断
15・16	トートバック製作 完成		45・46 スカート製作Ⅲ - 表地・裏地作り
17・18	ブラウス研究Ⅰ - 分解		47・48 スカート製作Ⅳ - ファスナーつけ
19・20	ブラウス研究Ⅱ - 組み立て		49・50 スカート製作Ⅴ - 裏地合わせ
21・22	ブラウス研究Ⅲ - 発表		51・52 スカート製作Ⅵ - ベルトつけ
23・24	ブラウス製作Ⅰ - パターントレース		53・54 スカート製作Ⅶ - 仕上げ
25・26	ブラウス製作Ⅱ - 裁断		55・56 スカート製作Ⅷ -
27・28	ブラウス製作Ⅲ - 身頃・ポケット作り		57・58 修業テスト / スカート発表準備 - 撮影
29・30	ブラウス製作Ⅳ - 見返しつけ		59・60 スカート発表

【成績評価方法】

課題作品の評価60% 期末試験30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

洋裁教科書 教科書『ブラウス』『スカート』

【教材・教具】

筆記用具 洋裁道具一式 服飾資材

科目名	ファッションドローイング&デザイン	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	ファッションビジネスコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	金児優

【科目の到達目標】

ファッション産業界で必要なデザイン画及びデザインの基礎知識、ファッションプロポーション・スタイル・シルエットの理解。色々なポーズ着装・着色方法・平面画の描き方とテクニック、時代に即応したコーディネート表現を修得する。色々なスタイリングやデザインを理解し、トレンド感性を伸ばす。

【科目の概要】

グローバルな観点からトレンドを分析し、ファッション業界に必要なファッションスタイリング、ファッションデザイン知識の講義、スタイル画・ハンガーイラストの描き方を修得。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 導入
- 2 直立ポーズ
- 3 片足重芯ポーズ
- 4 スタイル・ボディ画(ワンピース)
- 5 スタイル・ボディ画(ワンピース)
- 6 スタイル・ボディ画(ワンピース)
- 7 スタイル・ボディ画(オリジナルスタイリング)
- 8 イメージMAP作成
- 9 スタイル・ボディ画(オリジナルスタイリング)
- 10 イメージMAP作成
- 11 スタイル・ボディ画(オリジナルスタイリング)
- 12 イメージMAP作成
- 13 アイテム画・ハンガーイラスト
- 14 中間テスト
- 15 中間テスト
- 16 商品企画コーディネート画
- 17 アイテム画・ハンガーイラスト
- 18 商品企画コーディネート画
- 19 アイテム画・ハンガーイラスト
- 20 商品企画コーディネート画
- 21 アイテム画・ハンガーイラスト
- 22 商品企画コーディネート画
- 23 アイテム画・ハンガーイラスト
- 24 商品企画コーディネート画
- 25 トレンドスタイリング
- 26 商品企画・アイテム画
- 27 商品企画・アイテム画
- 28 商品企画・アイテム画
- 29 商品企画・アイテム画
- 30 商品企画・アイテム画

【成績評価方法】

課題60% プレゼンテーション30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

辞典：ファッションビジネス学会・監督『ファッションビジネス用語辞典訂正版』文化出版局

教①：高村是州『ファッションデザインテクニック』株式会社グラフィック社

教②：(財)日本ファッション教育振興会・編『ファッションビジネス[I]訂正版 ファッションビジネス能力検定試験3級準拠』(財)日本ファッション教育振興会

教③：高村是州『スタイリングブック』株式会社グラフィック社

【教材・教具】

科目名	カラーリング	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	ファッションビジネスコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 50 % 実習 50 %
時間数	30	作成者	小西祐司

【科目の到達目標】

ファッション商品にとって色彩は重要な要素である。この科目では色彩に関する知識を修得し、カラーコーディネート力を高めることを目標とするとともに、得た知識を活用してスタイリングの演習や撮影等の現場で実践し、プレゼンテーションできる力を養成する。

【科目の概要】

テキスト『デザインの色彩』や画像・映像等の資料を使用して色彩の基本について講義と演習を行なう。またガッシュやカラーカードを活用した配色の実習をとおして色彩の知識を深める。

【授業計画】

90分/コマ

1	「ファッションと色彩」概説 三原色からの色作り	三原色からの色作り
2	配色演習(1)	色相対比
3	配色演習(2)	色相対比
4	色の三属性とトーン	エディトリアルデザインの色彩
5	映像に見る色彩	
6	配色演習(3)	トーンに基づいた配色、配色の実際 「色を拾う」
7	カラーコーディネート演習(1)	
8	カラーコーディネート演習(2)	
9	カラーコーディネート演習(3)	
10	配色演習(4)	絵画に見る色彩
11	配色演習(5)	絵画に見る色彩
12	「ファッションと色彩」	流行色 1960年代～現在
13	色彩理論「色彩と心理」	
14	色彩理論「ファッションと色彩・まとめ」	
15	試験	

【成績評価方法】

課題評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

中田満雄 北畠耀 細野志尚 監修 財団法人日本色彩研究所『デザインの色彩』日本色研事業株式会社
WWDジャパン『WWD JAPAN』

【教材・教具】

デザインセット(デザインガッシュ/パレット/筆/筆洗)雑巾、B4ケント紙、配色カード(199色)
30センチ定規、カッターナイフ、ハサミ、ノリ、カッティングマット

科目名	服飾素材論 I	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	ファッションビジネスコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	河本育子

【科目の到達目標】

ターゲットのニーズに応じた素材提案ができる人材の育成を目指す。
 アパレル素材についての基礎知識を修得し、その代表的な布地の特性を理解する。

【科目の概要】

多様化するニーズ、マーケットやチャネルの変化の中にあっても、材料となる素材を抜きにファッションを語る事はできない。本教科では、講義によりアパレル素材の基礎知識を体系的に修得。また教科書等の実物サンプルを通して、布地特性の理解を深め、ターゲットに応じた素材選びを学んでいく。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 オリエンテーション
ファッショントレンドと素材の関連性について
- 2 素材とは？(繊維・糸・布地)
- 3 生地の種類(織物・編物)について
- 4 ・繊維の種類について
天然繊維・化学繊維
- 5 繊維の特性
- 6 ・天然繊維(1)・植物繊維一綿
代表的な綿織物
- 7 ・天然繊維(2)・植物繊維一麻
代表的な麻織物
- 8 ・天然繊維(3)・動物繊維一毛
- 9 代表的な毛織物
- 10 ・天然繊維(4)・動物繊維一絹
- 11 代表的な絹織物
- 12 生地の加工・色・パターン(柄)について
- 13 まとめ
- 14 総復習(テスト傾向と対策)
- 15 総合テスト

【成績評価方法】

提出物(レポート)の評価 60 % 期末試験 30 % 授業態度 10 %

【教科書・参考書】

一見 輝彦『わかりやすいアパレル素材の知識』ファッション教育社 2012年
 田中道一『生地の事典』株式会社みずしま加工 2013年

【教材・教具】

筆記用具

科目名	ファッション史 I	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	トップマネージメントコース ファッションビジネスコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 80 % 実習 20 %
時間数	30	作成者	松下絢子

【科目の到達目標】

国の文化の違い、美術、建築、音楽、映画など文化的関連性を学び、ブランド、デザイナー、トレンド、時代背景を知る。ファッションの現代史を理解した上で販売・企画のできる人材の育成を目指す。

【科目の概要】

1918年以降のパリモードとラグジュアリーブランドの誕生、現代のトレンドまでを様々なつながりから理解し、これからも続くファッション変化を予測できる基礎ファッション史知識の習得を目指す。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 映画とファッション史
- 2 音楽とファッション史①
- 3 音楽とファッション史②
- 4 音楽とファッション史③
- 5 ジェンダーの変化で知るファッション史
- 6 時代のアイコンとファッション史
- 7 時代のアイコンとファッション史
- 8 戦争と平和で知るファッション史
- 9 ファッション消費の歴史
- 10 ブランドの誕生から現代①
- 11 ブランドの誕生から現代②
- 12 ブランドの誕生から現代③
- 13 ブランドの誕生から現代④
- 14 スポーツとファッション史
- 15 修業試験

【成績評価方法】

課題評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具